

認知症高齢者見守りネットワーク事業 各事業の具体例

【必須事業】

① 認知症理解のための研修会、家族会、相談会等の開催

※オンラインの活用や冊子等の配布なども可能です

- ・認知症研修会（講演・パワーポイントによる説明・DVD鑑賞・グループワーク）
- ・介護に関する研修会（介助方法・介護ポイントの実演・実技指導・介護食試食・介護用品展示）
- ・家族会、家族等懇談会
- ・認知症相談会、介護相談会

② 地域住民、地域組織、事業所等によるネットワーク会議の開催

- ・ネットワーク事業の内容や体制整備の検討、グループワーク他

～事業所・運営推進委員・地域住民・自治会代表・コミセン・民生委員・ボランティア・老人会・郵便局・警察・消防署・商店等地域の代表が参加～

※運営推進会議を計画にあげる場合は、見守りネットワーク体制構築のための検討内容を明記してください。

③ SOSネットワーク・見守り体制の整備

- ・ネットワーク連絡表、緊急対応連絡網、情報提供シートの検討や整備
- ・検索マップ、地域資源マップ作り
- ・消防署との合同防災訓練
- ・夜間避難訓練



【任意事業】

④ 徘徊高齢者早期発見訓練の実施

- ～訓練の実施は、単独事業所・複数事業所合同・実行委員会形式・自治会・自治連合会との協働等問いません。～
- ・事前学習会、反省会開催、アンケートの実施
- ・ネットワーク整備で作成した緊急対応連絡網を用いて連絡体制を検証

⑤ その他必要と認める事業（地域交流事業等）

- ・広報、情報紙発行
- ・地域小学校児童対象の介護体験学習（車椅子誘導）や交流会
- ・地域のいきいきサロンとの交流

【委託料加算事業】

⑥ 認知症カフェの開催（別記載）

※開催方法や、実施内容が本事業の対象になるか御不明な場合はお問合せください。